



令和4年度

学校評価書



- | | |
|-----------------|-----|
| ○白州中学校グランドデザイン | P 1 |
| ○本年度の経営の方針 | P 3 |
| ○学校評価アンケートに係わって | P 4 |
| ○学校関係者評価会議より | P 6 |
| ○成果の概要 | P 7 |
| ○来年度への継続・改善事項 | P 8 |
| ○資料 | |
| ・生徒、保護者アンケート資料 | |
| ・自己評価資料 | |

北杜市立白州中学校

令和5年3月16日 校長 青柳 香

学校教育目標

豊かな心、自ら学ぶ力とたくましく
生きる力を育む白州中教育

生徒の実態

- ・素直で、真面目に取り組むが、表現力・積極性がやや弱い。
- ・学習への意欲、基礎・基本の定着をより向上させる必要がある。
- ・自己肯定感を高める関わりが必要

保護者の願い

- ・学力の向上
- ・部活動の充実
- ・自他を敬愛する心、粘り強い心、規範意識の等の向上

めざす生徒像

- 自ら考え、自ら学ぶ生徒
- 情操豊かで、思いやりのある生徒
- 心も身体も健康でたくましい生徒
- 自分を生かし、互いに高め合う生徒
- 勤労を尊び、人の役に立つ生徒
- 高い志を持ち、最後まであきらめずにやりぬく生徒

国・県・市の教育施策

- ・「生きる力」の育成
- ・「知・徳・体」調和の重視
- ・「原っぱ教育」の推進

確かな学力の育成

- やまなしスタンダード「授業づくりの7つの視点」に基づく授業
- 学習の意義を理解し、主体的学習に取り組む実践力の育成
- 個に応じたきめ細かな指導の展開
- 各種学力調査より実態を把握し、基礎学力向上の推進
- 補充学習等の充実
- 家庭学習の充実と習慣形成
- 生涯にわたり学習する基盤づくり
- ICTを活用した授業の推進

豊かな心の育成

- 豊かな人間性や社会性を培う心の教育の充実
 - ・合唱活動など表現力を高める文化・芸術活動の推進
 - ・互いに個性を認め、伸ばす心身の育成
- 道徳教育の改善と充実・授業公開
- 読書活動を充実させ、深く考える力と豊かな感性の育成
- しなやかな心の充実と心の居場所づくり

健やかな身体の育成

- 進んで運動に親しみ、体力向上健康で安全な生活習慣の定着
 - ・「持久力向上タイム」、全校レクを利用した体力向上
- 愛情と信頼に基づく「みんなで育てる生徒指導」の推進
 - ・「いじめ」防止の推進
 - ・スクールカウンセラー等を活用した教育相談体制の充実
- 危機、防災への実践力の向上
 - ・地域で役立つ生徒の実践力

郷土を愛し、未来を切り拓く人材の育成

- 生徒や教師が「誇り」を持てる学校づくり
- 「地域を知り、地域に学び、地域に貢献し、地域から愛される生徒」の育成
 - ・地域資源（ひと・もの・こと）の積極的な活用を図る
- 生徒会活動の活性化を図り、自主的・実践的態度の育成
- 生き方としてのキャリア教育（進路指導）の充実
- 個を生かす教育の推進と、特別支援教育の指導の充実

意欲と情熱あふれる教師

チームワーク・ネットワーク・フットワーク

- 生徒への深い愛情
- 仕事への深い使命感
- 職員の相互理解とチームとしての機能
- 師弟同行
- 情熱と魅力ある豊かな人間性
- 教育的実践力を高める研究・研修の充実

地域に根ざし、信頼される学校づくりの推進

保護者・地域との連携を密にする

- ・PTAとの連携強化
- ・地域の教育力の活用
- ・白州小、白州保育園との連携
- ・学校評議員制度の活用
- ・学校保健委員会の充実
- ・関係諸機関との連携（白州地区防災意識向上委員会）
- ・学校と地域住民が協働で学校運営に取り組む仕組みづくり

情報発信を進める

- ・各種たよりの発行、学校ホームページの充実
- ・授業や行事の積極的公開
- ・学校評価の実施と公開
- ・生徒・保護者アンケートの実施と公開
- ・学校関係者評価会議、いじめ防止対策委員会

令和4年度 北杜市の学校教育「原っぱ教育」 【グランドデザイン】

国の「第3期教育振興基本計画」

山梨県教育振興基本計画

教育の目標

【教育施策に関する基本的な方針】

1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要な力を育成する。
2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する。
3. 生涯学び、活躍できる環境を整える。
4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する。
5. 教育施策推進のための基盤を整備する。

基本理念
学び続け 共に生き
未来を拓く やまなしの人づくり

基本目標

- I 「生きる力」を育む 質の高い教育の実現
- II 人生を豊かにし、社会を支える 生涯学習の展開
- III だれもが安心して学べる 教育環境の整備

令和4年度学校教育指導重点

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 地域や世界で活躍できる人材の育成
- 5 特別支援教育の推進

不屈の精神と大志を持った人材の育成

第3次北杜市総合計画前期基本計画
(令和3年度～令和7年度)

めざす子ども像
夢を持ち 未来を切り拓く
心身ともにたくましい
北杜の子ども

子どもの笑顔が自分の笑顔になるまちづくり

- 1 魅力ある学校教育の推進
- 2 信頼される学校教育の推進と教育環境の整備

基本方針

- I 魅力ある学校づくりを目指します
- II 信頼される学校づくりを目指します
- III 時代に即した教育環境整備に努めます

「原っぱ教育」推進の視点

- (1) 自然や地域資源を活かした体験探究活動
- (2) 豊かな国際感覚を育てる教育
- (3) 情報活用能力を育てる教育
- (4) 豊かな人間性と社会性を育む教育

I 魅力ある学校づくりを目指します

重点目標:1 特色ある教育の推進

- ① 北杜市の自然や地域資源を活かした体験的・探究的活動の推進
- ② 豊かな国際感覚を育てる教育の推進
- ③ 情報活用能力を育てる教育の推進
- ④ 水育、食育を通じた環境教育の推進
- ⑤ 中高一貫教育の推進

具体的取組・施策・事業

- ・「ひともの・こと」を活かした学びの推進
- ・小中連携した外国語教育・国際交流の促進
- ・外国語コーディネーターの配置と活用
- ・電子黒板、タブレット端末等を活用した授業
- ・プログラミング教育の推進
- ・ICT支援員の配置と活用
- ・ICT研究会による実践交流
- ・6年間の継続的・計画的な教育課程
- ・SSH課題研究、企業・大学等との連携 等

重点目標:2 確かな学力の向上

- ① カリキュラム・マネジメントの推進
- ② 「主体的・対話的で深い学びを」目指した授業改善
- ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ④ 学習規律の定着による学習環境づくり
- ⑤ 家庭と連携した家庭学習の習慣づくり
- ⑥ 教職員の資質能力の向上

具体的取組・施策・事業

- ・補助教員、支援員の配置
- ・地域の人材を活かした学習支援
- ・全国学力学習状況調査等の活用
- ・補習的学習機会の提供
- ・家庭学習の取組
- ・タブレットの活用
- ・校内研修、校内研究の充実
- ・異校種間の教員研修の促進 等

重点目標:3 豊かな心と健やかな体の育成

- ① 道徳教育の推進
- ② 読書活動の推進
- ③ 郷土を愛する心の育成
- ④ 特別支援教育の充実
- ⑤ インクルーシブ教育の推進
- ⑥ 体力向上、スポーツ環境の整備

具体的取組・施策・事業

- ・道徳教育の充実
- ・学校図書室、地域の図書館の活用推進
- ・地域の歴史や文化に触れる機会の提供
- ・地域行事などへの積極的参加の促進
- ・特別支援コーディネーターの配置と活用
- ・各校における体力づくりの実践
- ・体力テスト、生活習慣調査の活用
- ・産地消給食事業の推進 等

重点目標:4 自立して生きる力の育成

- ① キャリア教育の充実
- ② 幼(保)・小・中・高の連携
- ③ ボランティア活動の推進
- ④ 優れた芸術・文化・スポーツに触れる機会の創出

具体的取組・施策・事業

- ・キャリアパスポートの活用
- ・職業体験事業リストの作成と活用
- ・ジュニアリーダー養成事業の推進
- ・異校種間の連携、情報共有
- ・体験教室等、芸術・文化・スポーツに触れる機会の提供 等

II 信頼される学校づくりを目指します

重点目標:5 いじめ・不登校対策の推進と教育相談の充実

- ① いじめ防止対策の推進
- ② 不登校対策の推進
- ③ 教育視線センター「エール」との連携強化
- ④ SOSの出し方に関する教育の推進
- ⑤ 教育相談の充実

具体的取組・施策

- ・北杜市いじめ防止アクションプランの実施
- ・児童生徒理解と個に応じた組織的な対応
- ・教育相談体制の充実
- ・学校生活意識調査(hyper-GU)の活用
- ・専門的知識を有する人材の活用
- ・スクールカウンセラーの活用(派遣)
- ・スクールソーシャルワーカーの配置と活用 等

重点目標:6 安全・安心な学校体制

- ① 学校安全(危機管理)体制の整備
- ② 「学校安全計画」の改善と充実
- ③ 「危機管理マニュアル」の改善と充実
- ④ 登下校時の安全確保と指導の徹底

具体的取組・施策・事業

- ・学校安全体制の徹底と計画の見直し
- ・実践的防犯訓練の実施
- ・危機管理マニュアルの見直し
- ・スクールボランティア、安全ハトロールの推進
- ・北杜市通学路交通安全プログラムの推進
- ・北杜警察署スクールサポーターとの連携 等

重点目標:7 家庭・地域との連携と協働

- ① コミュニティスクールの推進
- ② 学校からの積極的な情報発信
- ③ 学校評価の適切な実施とPDCAサイクルの確立

具体的取組・施策・事業

- ・学校運営協議会を目指した取組
- ・学校だより、ホームページ等の活用
- ・各学校の特色ある活動(地域探検、登山、競歩大会等)の保護者・地域との連携 等

III 時代に即した教育環境整備に努めます

重点目標:8 教職員の働き方改革への支援

- ① 教職員の多忙化改善による教育力向上
- ② 教職員のメンタルヘルスクアの推進

具体的取組・施策・事業

- ・部活動支援員の配置・拡大
- ・勤務支援システムの導入
- ・勤務実態の把握と産業医面談の実施
- ・ストレスチェックの実施 等

重点目標:9 施設の計画的な維持管理・整備

- ① 学校施設の維持管理
- ② 学校の適正規模、適正配置
- ③ 学校給食施設の計画的な統廃合

具体的取組・施策・事業

- ・小中学校中長期保全化計画
- ・甲陵高校の計画的な補修
- ・学校給食施設の統廃合、運営方法の検討

やまなしスタンダード

● 授業づくり7つの視点 ●

- ① 授業の始めに児童生徒に授業のめあて(目標)を示している。
- ② 話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。
- ③ 児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。
- ④ 児童生徒は、ノートをとっている。
- ⑤ 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにしている。
- ⑥ 授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達成しているかを評価している。
- ⑦ 家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びついている。

日常的重点実践

- (1) 授業規律・生活規律の徹底と不断の授業改善
- (2) 的確な児童生徒理解と、それを踏まえた状況把握及び支援のための体制づくり
- (3) 学校・保護者・地域住民が力をあわせて学校運営に取り組む仕組みづくり

各種研究指定校

- 「原っぱ教育」実践研究モデル校 ◆ 小淵沢小学校・甲陵中学校(2/2年目)
白州小学校・高根中学校(1/2年目)
- スーパーサイエンスハイスクール指定校 ◆ 甲陵高等学校(R4～8年)
- 深い学びの実現に向けたICT活用推進事業推進校 ◆ 泉小学校・武川中学校(R3・4年)
- 英語教育改善プラン推進事業研究指定校 ◆ 長坂中学校(R3・4年)
- 道徳教育研究推進校 ◆ 須玉中学校(R4～6年)

I 令和4年度 学校教育目標及び教育方針

1 学校教育目標

「豊かな心，自ら学ぶ力とたくましく生きる力を育む白州中教育」

【めざす生徒像】

- 自ら考え，自ら学ぶ生徒
- 情操豊かで，思いやりのある生徒
- 自分を生かし，互いに高めあう生徒
- 勤労を尊び，人の役に立つ生徒
- 心も体も健康でたくましい生徒
- 高い志を持ち，最後まであきらめずにやりぬく生徒

2 学校教育目標設定の理由

グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等による社会の変化や少子高齢化が急激に進む現在，これからの社会を生き抜く生徒たちは，持続可能な社会の担い手として，多様性を認めながら，質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。

こうした状況を踏まえ，その基盤を担う学校教育においては，「様々な変化に積極的に向き合える生徒」・「他者と協働して課題を解決できる生徒」・「多様な情報を見極め，再構築できる生徒」を育成していかなければならない。

生徒たちを取り巻く環境の変化により学校が抱える課題も複雑化・困難化する中で，学校と社会が同じ目標を目指し，連携・協働しながら，新しい時代に求められる資質・能力を育んでいくことが求められている。

社会の変化に柔軟に対応できる力を育むために，心身ともにたくましく生き抜くことができる人づくりを育成の基盤にして，自ら課題を見つけ自ら解決し，それを次に生かしていける力（自ら学びに向かう力を高めること）と人としてよりよく生きようとする力（豊かな心を育むこと）を車の両輪として位置づけ，本校の教育の柱とするべくこの目標を設定した。

3 学校経営の方針

豊かな自然に囲まれた本校の生徒は，純朴で明るく素直である。人に優しく，生徒同士も，生徒と教師の間でも気軽に話し合う姿がある。一方で自分を表現することや，根気強く物事を行うこと，自分をより高めようとする意欲などに課題がある。いろいろな事に気付き，深く考え，状況に応じた言動のとれる生徒，社会性のある生徒を一層目指して自律・自立できるようにする。

中学校3ヶ年は義務教育のまとめの時期であり，社会人になる準備期間である。子どもと大人の間接点としての中学生が将来にわたって，自分自身をよく知り，自分の良さを生かすとともに社会の一員としての言動ができるように育ててゆく必要がある。小規模校としてのメリットを最大限に生かして，生徒一人一人が活躍できる機会の充実と教師の授業力の向上を目指したい。

学校教育目標を具現化するために次のようなことに重点を置いて今年度の教育を行っていきたい。

1 地域や生徒の実態に則した教育目標を設定し，特色ある学校づくりに努め，教師や生徒が学校に「誇り」が持てる学校経営を行う。また，地域や人材の支援の拡充を図り地域と一体となって子どもたちを育む地域とともにある学校づくりにも取り組む。

2 地域の行事等に積極的に参加し，防災学習会等において地域に関わる取り組みの充実に努め，「地域を知り，地域に学び，地域に貢献し，地域から愛される生徒」を育てる。

3 各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間の関連を図り，どの時間も有効に機能するような工夫を行うと共に言語活動を充実させ，自ら課題を見つけ，解決したり追求したりするようICTを活用しながら，主体的に学習に取り組む態度を養う。

4 自ら学ぶ意欲や態度を育成し，生きる力を育むための具体的事項の理解を深め，指導計画の改善とカリキュラム・マネジメントの充実を図る。

5 特別支援教育の充実を図り，指導方法を工夫して，生徒一人ひとりの個性の伸張を図る。

6 朝読・家読等の読書活動を充実させ，深く考える力と豊かな感性を育てる。

7 生徒一人一人の共感的理解と望ましい集団作りに努め，心の居場所づくりを構築すると共に愛情と信頼に基づく「みんなで育てる生徒指導」に努め，「いじめ」を絶対に起こさない意識と活動の充実を図る。

8 道徳授業公開日を設ける等，道徳の時間を通じて多様な考えや自分自身との関係を見つめることにより道徳的実践力を高めると共にしなやかな心の充実を図る。

9 豊かな心を育むために一流の芸術に触れたり，合唱活動を行ったりすることで自らの感性を磨くと共に，集団での表現を通じて相手に気持ちを伝える表現力の向上を図る。

10 「持久力向上タイム」の充実を図り，進んで運動に親しむ態度を育てると共に健康で安全な生活習慣の定着を図る。

11 生徒会活動を活性化し，生徒自身がよりよい学校生活を創るために取り組み，自主的・実践的な態度を育てる。部活動を生徒が互いに協力し合い，高め合いながら自らの適性や興味・関心をより深く追求していく機会にする。地域に心を届ける「あいさつ運動」の充実を図る。

12 職場体験や社会体験を積む中で生徒が自らの生き方を考え，主体的に進路を選択することができる生き方としてのキャリア教育（進路指導）を充実する。

13 信頼される学校づくりのため，危機管理に対する学校の対応や日々の情報提供に努め，学校だよりや学級通信・学校評価などの情報を積極的に発信し，開かれた学校づくりに努める。

14 教師も常に学び続けるという観点から，教育的実践力を高める研究・研修を積極的に行う。

2 学校評価アンケートに係わって

I 〈学校生活〉

※ 「 」内は関連行事等

本年度も新型コロナウイルス感染拡大のため、教育活動の制約があったので、縮小したり出来なかつたりした行事もあった。

- ほとんどの生徒は学校に行くのを楽しみにしており、行事に積極的に参加すると共に、生徒会活動や学級会活動などの活動の場において役割を果たし活躍している。今後も生徒の居場所づくり、絆づくりに努め、自己肯定感を涵養していく。
「全校レクレーション」「こまさと祭」「合唱祭」「生徒会オリエンテーション」「焼きいも集会」「生徒会立会演説会」「3年生を送る会」等
- 協力的な保護者や地域の力を活用して白州中教育を支援してもらい、学校行事等で生徒の成長を育んでいく。
「PTA早朝作業」「こまさと祭」「命の学習」「職業講話」「尾白川水質調査」「学校保健委員会」「各種出前授業」等
- マナーや規範意識の向上のため、生徒会活動を中心に積極的に取り組み、良き伝統を受け継ぎ生徒自らがよりよい学校づくりに努めている。生徒集会等を支援しながら、仲間との関わり方や友人のよい点を学ぶ機会をつくっていく。
「全校合同朝の会」「あいさつ運動」「ふわふわウイーク」「生徒総会」「白州中PTAスマホのおきて」「いじめ撲滅宣言」「JRC活動」等
- 部活動では、少人数ではあるが対外的な大会・コンクールへ向けて、自分に打ち勝つための工夫した練習に取り組むと共に、自他を敬愛する心、粘り強い心、規範意識等を育んでいく。「激励集会」「総体」「新人戦」「吹奏楽コンクール」「アンソングコンテスト」等
- 地域と共に一流の芸術に触れる機会をもち、しなやかな心の育成に努めている。「芸術鑑賞事業」「台ヶ原虎頭の舞授業」「雅楽体験授業」等
- 安全や健康保持増進に対して、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。
「性感染予防教室」「命の学習」「避難訓練」「給食委員会残食調査」「給食を作っていたらいるセンター内のDVD鑑賞」「学校医を講師でお招きする学校保健委員会」等

II 〈授業・学習・読書〉

- ICT機器の有用性を我々が理解し、有効な使い方を学習して積極的に授業などで活用することで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して全員で授業改善に取り組む。(校内研究で年間を通して学習を進めていく)
- 主体的に活動する生徒の育成に向けて、「見通しと振り返り」に焦点を当てた学習を協働的に進める。「小中合同職員研修」「校内研修」「家庭学習の見直し」等
- 授業のユニバーサルデザイン化と、楽しく、わかりやすい授業展開による達成感、充実感を醸成し、課題解決型学習により活用探究へとつなげていく。「小中相互授業参観」等
- 学力の底上げを図るため、個別支援による補習的な学習の充実を図る。
「朝読書の時間」「数チャレ」「英チャレ」「放課後の学習」「学習強化期間の学習会」「長期休業中のほくと学び舎への積極的な参加」「全国学力学習状況調査」「県学力把握調査」「ピックアップ問題の活用」「復習テスト」等
- 家庭学習についての目的や方法の見直しを行い、家庭での時間の確保など、まずは確実な定着を目指し、家庭と連携を図って進めていく。
「家庭訪問」「三者懇談」「学年懇談会」「学びのみなもと」「くらしのノートの利用」等
- 外部人材を積極的に授業に活用して、新しい時代を生き抜く力を育成していく。
「合唱講師による音楽科指導」「県税理士会による租税教室」「消費者教育の出前授業」「講師による地域伝統行事授業」「職業講話」「雅楽体験授業」等
- 1年生の段階からキャリアパスポートに沿って計画的にキャリア教育に取り組み、自己決定能力を高める。「校外学習」「職業講話」「修学旅行」「高校オープンスクールの活用」等

- 保護者の理解を得ながら、家読の意識を高める方策を検討していく。「読書週間」等
- 毎週1回のNIE教育を通して、新聞を読む機会を増やし、社会に目を向け幅広い視野と社会性を育てる。「隔週1回の朝NIE学習」等

III 〈学校職員〉

- 学習評価、活動評価が生徒の意欲に直接的に結びつくように、常に評価の改善を図っていく。
「白州中学びのみなもと」「自主学習ノートを有効活用するための定期的な見直しや検討」等
- 小中連携による系統性・継続性・関連性を持った教育の充実を図る。
「小中相互授業参観」「白州小6年生1日体験入学・6年生保護者授業参観」「学園祭への6年生の招待（コロナ禍のため中止）」「新入生説明会・部活動体験見学（部活動体験は中止）」「毎月の小中連絡会」等
※今年度はコロナ禍もあり、出来ないことが多かった。
- 全教職員の共通理解による支援により、生徒個人や集団のよいところを伸ばす生徒理解に努める。
「生徒指導会議（情報交換）」「いじめ防止対策委員会」「新入生情報交換会」「職員会議」「校内支援委員会」「北杜市教委いじめ対応アクションプランの活用」等
- 教育相談の充実を図り、生徒の小さな変化に気付けるようアンテナを高くし、ささいなことでも気軽に相談できる雰囲気づくり・体制づくりをする。
「スクールカウンセラーによる全員面談」「個別面談」「生徒指導会議（情報交換）」「職員会議」「白州中いじめ防止基本方針」「くらしのノート」「開かれた保健室環境」「北杜市教委いじめ対応アクションプランの活用」等
- 学校生活を通して、自己肯定感、自己有用感がもてるように、考えや思いを聞き、一人一人の良い点をのばしていける声かけや励まし等を行い、生徒に寄り添った指導を心掛ける。
「たより等による情報の積極的発信」「二者面談」「Q U調査の活用」「楽しい学校づくりアンケート」「いじめ防止対策委員会」等

IV 〈家庭生活〉

- 家庭と連携して、生徒の家庭での過ごし方を支援していく。
「夏休みのしおり」「冬休みのしおり」「春休みのしおり」「くらしのノート」等
- 学校の様子を話題としている家庭も多いが、家庭や地域に本校の教育を理解してもらえるよう学校からの情報発信を積極的に行い、家庭・地域と連携して、白州教育の推進に努めていく。
「ホームページの充実」「白州中学びのみなもと」「学級・学年・学校・各分掌からのたより」「白州中安心メール」等

3 学校関係者評価会議より

実施日 令和 4年 2月6日(月) 午後5:30～午後6:30
会場 北杜市立白州中学校校長室
参加者 [学校] 校長 青柳 香 教頭 中山正仁 生徒指導主事 進藤由紀
[評議員] 横森 勝 依田信二 井上 亨 原まゆみ(欠席)
[PTA] 会長 坂本幸江 副会長 高橋志穂 平賀清美 【9名】

I 〈学校側からの提案〉

「学校評価アンケート」の分析結果について

II 〈全体的な話し合い内容と評価〉

- けっこう肯定的な評価が高いことが素晴らしい。先生方の日ごろのご苦勞が評価されている結果だと思う。引き続き生徒のために細かい対応を続けてほしい。
- 「学校に行くのを楽しみにしていない」と回答した生徒は様々な理由が考えられる。しかしその生徒を見定めて、職員で共通理解のもと、指導・見守りを行っていただきたい。
- どのくらいの生徒がスマホを持っているかはわからないが、ゲームや動画視聴などに使用していると思われる。とにかくスマホのやり過ぎにより勉強不足にもなる。親はどの程度使い方を把握しているのか。脳に対しても良くないことがわかっている。親として責任を持ってしっかり管理をしなければいけないと思う。
- 本当は持たせない方が良いと思う。親が寝てからやっている子どももいる。ゲーム依存で不登校になっているような子どももいる。白州中では、使い方についてPTAで注意喚起しようという運動を継続していると思うが今も続いているか。
- 『白州中学校PTA我が家のおきて』という決まりを作っている。我が家のルールというものを決めてくださいと総会で伝えている。
- 学校でも朝読書や、本に親しむような企画、新聞を利用したNIE教育などを行っている。読書と学力の関係や読書をすると学力が高くなることがわかっている。しかし、新聞を読まない、ニュースを観ないなどの現状がある。今の若者は、音、映像や文字から情報を読み取ることができない。
- ネット上の世界があたりまえになっている。すると、文章を書くのが苦手になる。高校生も、文章を読んで理解することが苦手になり、問題の意味もわからなくなってしまう。やはり読書は大切だと思う。
- せっかくICT機器(一人一台端末)が整備されつつあるので、うまく活用することができればいい。どのような活用ができるのか考えて取り組んでほしい。
- ICT機器の活用は本校の校内研のテーマとなっている。教員も有効活用に向けて頑張っているところである。
- 生徒の様子をみると、昔とは違ってみんな仲が良さそうだ。しかし、子どもの線が細いような気がする。在籍だけするなんてことがある事を初めて知った。
- フリースクールへ通う子は中学校に籍だけある。籍だけの子は小学校から一緒に上がってきた。むすびへ行きたくて、別の地域から来ている子どもも結構いる。

- 小規模校だからこそ一人一人に発表する場・活躍する場が保障されている。活躍する場が多いことは良いことだと思う。多くの生徒にその場を与えてあげてほしい。
- その他、来年度からのコミュニティースクールについてのご意見もたくさんいただく事ができた。

4 成果の概要

年度始めは、新型コロナウイルス感染症も落ち着きが見え、修学旅行等の学校行事も計画通りに進めることができた。しかし、変異株もでてくるなど、7月頃から再びコロナウイルスに翻弄されることとなった。教員へのワクチン接種を実施していただきありがたかった。以前とは感染の勢いが早いウイルスの流行で今までに無い感染拡大状況だった。身近でも感染が確認されて、開催日の変更や規模縮小などはあったが、学園祭・合唱・職場体験・校外学習等大きな行事は万全な対策をとるなかで実施し、充実した白州中教育を進めることができた。また、多くの外部の方々による出前授業等も出来たことは良かった。

小中学校の連携においても、予定通り年2回の合同職員研修による相互授業参観を行うことができ、各学校での授業の様子や児童生徒の様子を参観できて、共通理解ができたことは今後につながると思う。それぞれが負担にならないように継続していけたら良い。また、小学校6年生対象に「白州中1日体験入学」も実施できた。今年は中学校の理科の授業体験をし、中学校の雰囲気を感じてもらい「楽しかった」という感想が多かった。6年生の保護者も参観に訪れてくれたことは良かった。

健康保持増進対策として、食育の充実について取り組んだ。栄養教諭による食事のマナーや姿勢の指導をしていただいた。「給食センターの1日」のDVDを鑑賞し、調理場での大変さを知ってもらうことで、感謝の気持ちがより高まり、残食も減らすことができた。また、給食委員会によるクイズ等の取り組みも行った。生徒会本部による縦割班での身体を使った全校レクレーションや体育の授業前体力作りを充実し、体力の向上に努めた。

マナーアップや規範意識の向上のための「全校合同朝の会」による自治的な取り組み、生徒会活動・学級会活動・学校行事等で、一人一人が主役となる活動、協働して取り組む機会等を充実させることで、生徒の居場所づくりや絆づくりを図り、自己有用感や自己肯定感がもてる生徒の育成に努めることができた。生徒一人一人が、役割や責任を果たす取り組みは、生徒同士の関わりの中で、互いのよさを認め合い、敬愛の心を育む機会となった。万全の対策や入場制限を実施した学園祭には、延べ250名という多くの保護者や家族の方々に来校いただいた。保護者の方々には入場制限や感染予防対策など多くのことにご協力をいただいた。本番では一緒に参加する中で生徒の成長した姿を見ていただき、学園祭を創りあげていただいた。

合唱祭は、コロナ感染状況により12月に延期したが、開催場所の収容人数の関係もあり、昨年同様に単独の合唱祭を、歌声が響き渡る素晴らしい会場で開催することができ、多くの方々に好評をいただいた。

小規模校を生かし、TTによる学習指導や習熟度別の授業を実施することで、基礎的な知識や技能の定着を図ることができた。主体的・対話的で深い学びにつなげるためには、生徒が学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげることが重要になることから、ICTを活用することを校内研究の柱とし、山梨スタンダードによる「めあての提示、見通し・振り返り」を意識した授業実践も行うことができた。特に本年度は、活用できる様々なソフトを知ることができたり、リモート授業も含めて、授業で一人1台端末を活用した実践を日々行うことができたり、多くの先生方が普通に使えるようになったことが大きな成果といえる。また、本年度も、外部人材を、教科・総合的な学習・道徳・特別活動等に積極的に活用し、これからの社会を生き抜く力を醸成してきた。

情報の発信としてのホームページを見直し、学校の様子や生徒の頑張りをできるだけリアルタイムでお伝えできるようにした。

これらの活動については、保護者や地域の方々に温かく見守られ、白州中教育を充実できたことに感謝したい。

5 来年度への継続・改善事項

まだまだコロナ禍ではあると思うが、工夫をして以下を重点的に取り組みたい。

1 誇りのもてる学校

- 学校で学習したことや習得したことを地域や家庭に積極的に発信し、地域で活躍できる生徒を育成する。
- 挨拶も含めたマナーアップや規範意識を高め、白州中学校の生徒として、地域で自信をもって自己表現できる生徒を育成する。

2 地域に貢献する生徒の育成

- 地域・郷土に親しみ、他地域に出てからも、郷土である白州を自慢にできるような誇りを持つことができ、帰ってきたいという郷土への帰属意識を高められるような実践をする。
- 地域人材を教科・生徒指導・道徳・職場体験学習・部活動等で積極的に活用し、地域と連携して生徒を育成することで、地域に学び、地域を知り、地域に貢献する生徒の成長に努めていく。
- 自ら命を守り、共助の精神を養い、地域防災・救援活動に生かしていく。
- 地域行事に積極的に参加・協力し、地域の一員としての地域愛を育む教育を進めていく。
- 白州の自然環境を生かした教育を積極的に取り入れていく。

3 主体的に学習に取り組む生徒

- 少人数を生かした指導や補充的な学習の充実を図り、基礎的・基本的な知識や技能を習得させる。
- 生徒を主体とした、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ICT機器を活用し、主体的に必要な情報を収集、判断、表現、創造し、発信、伝達できる実践力を養う。
- 家庭学習への取り組みを見直し、まずは家庭学習の時間の定着を第一に考える。家庭の協力を得ながら取り組みを進めていく。個人差への対応を頭に入れて取り組む。

4 山梨スタンダードの実施

- ①めあての提示 ②効果的な言語活動 ③発表に耳を傾ける ④ノートをとる ⑤習得したものを探究活用につなげる（新しい場面・次のステージ）⑥意欲化につなげる評価⑦家庭学習と授業の有機的な結びつきのための授業改善を図る。
- 全ての教科において「めあての提示、見通し・振り返り」を実施し、家庭学習へとつなげていく。
- 全国学力学習状況調査、山梨県学力把握調査、教育課程実施状況調査等の各種調査を分析し、生徒の実態にあった生徒一人一人を大切にされた指導計画を立案する。
- PDCAサイクルにより、前年度のうちに次年度の計画を立案していく。

5 特別支援教育の充実

- 専門性の向上を目指し、指導方法の工夫や授業展開の改善を図る。
- 小中学校で連携し、個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用・充実させ、生徒の自立を図っていく。
- エールやSC・SSW等の外部機関と連携し、不登校生徒へのきめ細かな対応を図る。

6 読書活動の充実

- 読解力と豊かな感性を高めるため、朝読の習慣化の徹底を図る。
- 家読については、PTA活動と連携し推進する。

7 愛情と信頼に基づく生徒指導

- いじめ防止対策委員会や生徒指導部会等で素早く情報を共有し、教職員同士でカバーし合いながら組織的に生徒指導に取り組むと共に、全職員で全生徒に係わりをもち、生徒理解に努める。
- 全校合同朝の会等の自治活動を支援し、規範意識の向上を図る。
- SCの全員面談や職員による個別相談の充実を図り、素早い情報のキャッチと早期対応に努め、生徒一人一人に寄り添った生徒指導に心がける。
- 生徒会活動、学級活動、部活動、学校行事を充実させ、生徒の居場所づくり、絆づくりに努める。

8 心の教育の充実

- 道徳の教科化に伴い問題を多面的・多角的に捉え、「考え議論する道徳」へと質的転換をして、しなやかな心の醸成に努め、「命を大切に作る心」「思いやりの心」「いじめを許さない心」「正しいことを行おうとする心」を育てる。
- 人間関係づくりを中心に据えて、体験活動で自己肯定感、学校行事で自己有用感を育てていくことで、激しい社会環境の変化に対応できるたくましい生徒の育成をめざす。

9 感性と表現力の向上

- 芸術鑑賞教室、雅楽体験授業等において、一流の芸術に触れさせ、感性を磨くと共に、こまさと祭文化部門、合唱祭等を通して、豊かな表現力を身に付けさせる。

10 健康で安全な生活習慣

- 部活動の充実、全校レクレーション、他の取組などにより、体力の向上と粘り強い心の育成に努める。
- SOS の出し方に関する教育を実施し、他者に助けを求めてよい事を伝え、友人の危機に気付いたときの対応方法等を理解させる。
- 他校と連携して取り組むなど、校外での部活動の充実を図る。
- 委員会活動を通じて食育を推進し、健康増進に努める。

11 生徒会活動の活性化

- 生徒会の行事を充実させ、生徒による楽しい学校づくり・生徒自身によるルール作りを支援する。
- 生徒会活動の時間確保と充実を図り、生徒会行事を通して、一人一人が充実した学校生活となるよう支援する。(あいさつへの取り組みなど)

12 進路指導の充実

- 1 学年では職業調べや進学先調べ、2 学年では地域の事業所の協力を得ながら、職業講話や職場体験・体験報告会、3 学年では高等学校のオープンスクールへの参加を通して、キャリア教育の充実を図る。キャリアパスポートを活用した学習、社会と関連付けた教育、社会人としての資質能力の育成に努める。進路について考え自己実現に向けての支援を図る。
- 復習テストや教育課程到達度確認検査を活用しながら、自ら進んで課題を克服する姿勢を育て、進路実現に向けた意欲の向上を図る。
- 1 学年より積極的に進路情報を提供し、家庭と連携して早めの準備を行っていく。

13 危機管理と情報発信の充実

- 避難訓練を工夫しながら実施し、災害時の実践的な対応能力を図る。
- 白州中安心メールを通して、緊急連絡に備えた体制づくりを構築する。
- 家庭、地域と連携を強固なものにするため、学校の様子について、たより、HP、チラシ等で、積極的に話題を提供していく。画像なども含め、個人情報に注意しながら、提供方法を選ぶよう細心の注意を払う。

14 教師の教育的実践力

- ICT 活用推進事業や読解力・記述力育成事業を活用し、GIGA スクール構想による一人1 台端末を授業で活用していく場面をさらに研究し、有効活用に努める。
- 学力向上推進事業を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、発見学習、課題解決学習、課題探究学習、体験学習、調査学習等を仕組み、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等による協働型の授業を研究する。
- 教育課程の小中の接続を意識した小中相互授業参観等の職員合同研修、校内での自由参観などの充実を図り、自己啓発の研修やキャリアステージに合わせた研修、時には先進校視察なども考えながら、楽しく分かりやすい授業改善に努める。
- 教育者としての幅広い視野・人格・識見・使命感をもち、生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、そしてこれらを基盤とした実践的指導力を付けていく。

令和4年度後期学校評価(含:前期結果) 生徒アンケート集計結果について

| | | 後期の結果 | | | | 前期 | | |
|----------|----|--|----|----|----|----------------|----------------|----|
| NO | 項目 | 回答の人数(48/50) | | | | 肯定的評価(A+B)の割合% | 肯定的評価(A+B)の割合% | |
| | | A | B | C | D | | | |
| 学校生活 | 1 | わたしは、学校に行くのを楽しみにしている。 | 15 | 22 | 8 | 3 | 77 | 81 |
| | 2 | わたしは、心身ともに健康に過ごしている。 | 22 | 19 | 5 | 2 | 85 | 90 |
| | 3 | わたしは、部活動(校外の自主活動を含む)に参加し、楽しく充実した活動をしている。 | 29 | 13 | 3 | 2 | 88 | 90 |
| | 4 | わたしは、生徒会活動(学級・学年・委員会)に積極的に参加している。 | 19 | 18 | 9 | 1 | 77 | 93 |
| | 5 | わたしは、よりよい学校生活が送れるよう、みんなや自分のためになるようにやっている。 | 16 | 26 | 3 | 3 | 88 | 88 |
| 授業・学習・読書 | 6 | わたしは、楽しく充実して授業を受けている。 | 21 | 20 | 4 | 2 | 85 | 88 |
| | 7 | わたしは、授業中に発言したり、人と話し合ったり、グループ活動などよくやっている。 | 23 | 17 | 6 | 2 | 83 | 93 |
| | 8 | わたしは、家庭で予習や復習(自主学習を含む)をほぼ毎日やっている。 | 13 | 18 | 11 | 4 | 65 | 88 |
| | 9 | わたしは、学校から出される宿題をほぼ毎日やっている。 | 15 | 19 | 11 | 3 | 71 | 81 |
| | 10 | わたしは、読書をほぼ毎日している。 | 8 | 12 | 18 | 8 | 42 | 69 |
| 学校・職員 | 11 | 先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。 | 27 | 18 | 2 | 1 | 94 | 90 |
| | 12 | 先生は、生徒を理解してくれている。努力したことを認めてくれる。 | 31 | 16 | 0 | 1 | 98 | 83 |
| | 13 | 先生は、生徒に声かけをしたり、困ったときや悩んでいるときに相談にのったりしてくれる。 | 25 | 18 | 4 | 1 | 90 | 83 |
| | 14 | 先生は、いじめや仲間はずれのない楽しい学級づくりにつとめている。 | 32 | 14 | 1 | 1 | 96 | 88 |
| 家庭生活・その他 | 15 | 家庭で自分の役割があり、それを忘れずにやってきた。 | 14 | 23 | 7 | 3 | 77 | 86 |
| | 16 | わたしは、家の人に話(授業中の様子や先生の話、友達の話、諸活動の話など)をよくする。 | 18 | 18 | 9 | 3 | 75 | 83 |
| | 17 | わたしは、安全な登下校、安全な学校生活に心掛けている。 | 31 | 13 | 3 | 1 | 92 | 95 |
| | 18 | わたしは、早寝・早起き、朝食を食べるなど健康な生活を心がけている。 | 19 | 16 | 12 | 1 | 73 | 93 |
| | 19 | わたしは、地域の行事にすすんで参加している。 | 16 | 16 | 11 | 4 | 67 | 86 |

令和4年度後期学校評価(含:前期結果) 保護者アンケート集計結果

| | | 後期の結果 | | | | | 前期 | |
|----------|----|---|----|----|----|----------------|----------------|-----|
| NO | 項目 | 回答の人数(45/50) | | | | 肯定的評価(A+B)の割合% | 肯定的評価(A+B)の割合% | |
| | | A | B | C | D | | | |
| 学校生活 | 1 | お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。 | 17 | 16 | 6 | 4 | 77 | 75 |
| | 2 | お子さんは、心身ともに健康に過ごしている。 | 23 | 19 | 3 | 0 | 93 | 83 |
| | 3 | お子さんは、部活動(校外の自主活動を含む)や生徒会活動に参加し充実した活動をしている。 | 23 | 14 | 4 | 2 | 86 | 81 |
| 授業・学習・読書 | 4 | お子さんは、楽しく充実した授業を受けている。 | 19 | 15 | 5 | 2 | 83 | 89 |
| | 5 | お子さんは、学校から出される宿題はほぼ毎回やっている。 | 25 | 10 | 5 | 4 | 80 | 80 |
| | 6 | お子さんは、家庭で予習・復習(自主学習を含む)をほぼ毎日やっている。 | 16 | 11 | 10 | 5 | 64 | 62 |
| | 7 | お子さんと一緒に、家で読書をしている。または本を通じてコミュニケーションをとっている。 | 4 | 11 | 19 | 11 | 33 | 31 |
| 学校・職員 | 8 | 職員は生徒を理解しその能力や努力を適切・公平に認め、評価している。 | 22 | 18 | 1 | 0 | 98 | 98 |
| | 9 | 学校は、PTA総会、学年懇談会などにおいて教育方針を分かりやすく伝えている。 | 28 | 15 | 1 | 0 | 98 | 100 |
| | 10 | 学校は、地域や保護者に学校教育や子育て、その他の情報を発信し、連携を図っている。 | 22 | 20 | 0 | 0 | 100 | 98 |
| | 11 | 学校は、家庭への連絡や授業参観の機会を設け、意思疎通をきめ細かに行なっている。 | 22 | 20 | 1 | 0 | 95 | 93 |
| | 12 | 学校は、自ら学ぶ生徒、自他を生かし互いに高めあう生徒の育成に努めている。 | 23 | 17 | 4 | 0 | 91 | 91 |
| | 13 | 学校は、広い心を持ち思いやりのある生徒の育成に努めている。 | 26 | 13 | 3 | 0 | 93 | 93 |
| | 14 | 学校は、働くことを大切にし、人の役に立つ生徒、心身ともに健康な生徒を育てている。 | 25 | 18 | 1 | 0 | 98 | 98 |
| | 15 | 学校は、生徒の登下校や学校生活の安全について、日頃から十分に配慮している。 | 23 | 18 | 3 | 0 | 93 | 98 |
| 家庭生活 | 16 | お子さんと家庭で、基本的な生活習慣や規範意識についてよく話し合いをしている。 | 15 | 20 | 10 | 0 | 78 | 83 |
| | 17 | お子さんと学校生活(諸活動や授業中の様子、先生や友達のことなど)の話をよくする。 | 20 | 17 | 7 | 1 | 82 | 77 |
| | 18 | お子さんと地域の社会活動や学校のPTA活動に積極的に参加している。 | 11 | 20 | 11 | 2 | 70 | 80 |

前・後期アンケートの結果に基づく学校の方向性

【 学校生活 】について

- 学校が楽しいところであるよう、活発な生徒会活動や学級活動を仕組み、積極的な取り組みを通して、生徒の居場所づくり、絆づくりによりいっそう努めていく。
- 生徒一人ひとりにしっかりと目を向け、声かけや個別相談などの素早い対応で、学校生活の充実を援助する。
- 地域や保護者の方々の力をお借りしながら、生徒の成長と安全確保について支援していただく。
- 少人数の部活動ではあるが、校外での活動などを充実させることで、刺激を受け合い意欲を高めていく。
- 合同朝の会等の自治的な活動を支援し、主体的に規範意識の向上を図っていく。

【 授業・学習・読書 】について

- 家庭学習(自主学習)について、まずは習慣化させる事を目標に、学校と家庭での連携した取り組みを行っていくことで、充実した家庭学習を、保護者と共に進めていく。
- 授業で、学習のめあてを立て、見通しと振り返りを行うことで、有機的に家庭学習に結びつけていくようにする。
- 教師がICT機器を効果的に活用する多くの授業実践を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して積極的に授業改善に取り組んでいく。
- 学力の底上げを図るため、出来る限り個に応じた指導を充実させていく。
- 苦手教科の克服に向けて、放課後学習会や休業中の『ほくと学び舎』への参加の呼びかけ、学習相談への取り組み等を継続していく。
- 家読(うちどく)や新聞活用に興味を持ってもらうために、本や新聞などを通じてのコミュニケーションの機会を増やすように、保護者とも連携して取り組んでいく。
- 積極的に白州の地域みなさまの力・PTAのみなさまの力を活用し、生徒の学習の充実を図っていく。

【 学校・職員 】について

- 生徒の活動の意欲化に直接結び付くような評価方法について、改善を継続していく。
- 白州小中学校運営協議会や白州小中学校の連携を強化し、系統性・継続性・関連性を持った教育の充実を図っていく。
- クラスや学校内で、生徒同士や生徒と教師が相談し合え、支え合える関係をつくっていけるように、日々の授業や学校生活の中で意識した取り組みを重ねていく。また、教師として視野を広くもち、声かけなどを積極的にしていくように心がける。
- HPや連絡メール、学校・学年・学級のたよりなどを通じた情報提供を頻繁に行い、学校の様子や予定、教育情報などを知っていただき、地域や家庭との連携を強めて生徒の活動を支援して

【 家庭生活 】について

- 地域・社会に貢献・役立つ人の育成を目指し、積極的に地域と連携した白州中教育を進めていく。

1年間、白州中学校の教育へのご理解、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

自己評価

4:良くてきた→→→→→→→→1:できていない

| 項目 | No. | 評価内容 | 1学期評価 | 2学期評価 |
|--------------|-----|---|-------|-------|
| 学校目標教育目標の下の位 | 1 | 私は『自ら考え、自ら学ぶ生徒』の育成につながる指導を行ってきたつもりだ。 | 3.9 | 4.0 |
| | 2 | 私は『情操豊かで、思いやりのある生徒』の育成につながる指導を行ってきたつもりだ。 | 3.9 | 3.9 |
| | 3 | 私は『自分を生かし、互いに高め合う生徒』の育成につながる指導を行ってきたつもりだ。 | 4.0 | 3.7 |
| | 4 | 私は『勤労を尊び、人の役に立つ生徒』の育成につながる指導を行ってきたつもりだ。 | 3.9 | 4.0 |
| | 5 | 私は『心も体も健康で、たくましい生徒』の育成につながる指導を行ってきたつもりだ。 | 3.8 | 3.9 |
| 組織運営について | 6 | 私は、校務分掌は教職員に適切に配分され、有効に機能していると思う。 | 4.0 | 3.4 |
| | 7 | 私は、本校では教職員相互の理解が十分になされ、まとまりをもった教育活動の取り組みが行われていると思う。 | 3.9 | 3.5 |
| 学習指導を振り返って | 8 | 私は、基礎基本を重視して指導を展開してきた。 | 4.1 | 4.4 |
| | 9 | 私は、主体的に学習に取り組む指導を工夫してきた。 | 3.7 | 3.9 |
| | 10 | 私は、校内研のテーマを目指した指導の工夫をしてきた。 「主体的に活動する生徒の育成」～見通しと振り返りを取り入れた授業実践～ | 3.9 | 3.9 |
| | 11 | 私は、表現力の向上、言語活動の充実のために、自分なりの取り組みをしてきた。 | 3.7 | 3.9 |
| | 12 | 私の教科では、評価規準や評価の方法を明確に示し、生徒・保護者にとって納得のいく評価をしてきた。 | 3.7 | 3.8 |
| | 13 | 私は、体験活動の充実や表現力向上を視野に入れた総合的な学習の時間になるよう努めてきた。 | 4.0 | 3.8 |
| | 14 | 私は、道徳的実践力を育てる指導を工夫・実践してきたつもりだ。 | 3.8 | 3.5 |
| | 15 | 私は、授業等で地域の施設や人材を活用して、学校・地域・人材相互の活性化を図ってきた。 | 3.8 | 4.0 |
| 生徒指導理解を振り返る | 16 | 私は、本校では、生徒の悩み等について、気軽に相談できる体制ができています（スクールカウンセラーの活用を含む）と思う。 | 3.9 | 4.1 |
| | 17 | 私は、本校では、生徒指導について、学校・地域・保護者及び関係機関の間で連携作りに努めてきたと思う。 | 3.8 | 3.9 |
| | 18 | 私は、きまりの意義を理解し、規則正しい生活ができるような指導を行ってきた。 | 4.0 | 4.1 |
| | 19 | 私は、健康・安全の意識を高める指導を行ってきた。 | 3.8 | 3.9 |
| | 20 | 私は、本校では、生徒が自主的・自立的に活動できるような場が設定されており、日常的にその推進がなされていると思う。 | 4.0 | 3.9 |
| | 21 | 私は、本校では、部活動がその目標(学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する)の達成に向けて行われていると思う。 | 3.8 | 3.8 |
| 環境面の整備 | 22 | 私は、生徒にとって過ごしやすい環境を作るための取り組みを自分なりにやってきた。 | 4.1 | 4.1 |
| | 23 | 私は、本校では、校舎内外の施設・設備について定期的に点検改善がなされ、結果が生かされていると思う。 | 3.8 | 4.0 |
| | 24 | 私は、本校では、事件・事故や災害発生の際に、適切に対応するためのマニュアルが作成され、すぐに活用できるようになっていると思う。 | 4.0 | 3.8 |
| 地域や保護者とのか | 25 | 私は、本校は、教育の目標や方針をはじめとした教育情報を地域に伝えてきたと思う。 | 3.9 | 4.1 |
| | 26 | 私は、本校は、教育の目標や方針をはじめとした教育情報を保護者に伝えてきたと思う。 | 4.0 | 4.0 |
| | 27 | 私は、本校では地域や保護者の声を、学校経営・学年学級運営に反映させていると思う。 | 4.0 | 3.9 |
| | 28 | 学校の教育活動に対して、地域はよく理解し協力的であると思う。 | 4.2 | 4.2 |
| | 29 | 学校の教育活動（PTA活動、学園祭、生徒指導面など）に対して、保護者はよく理解し協力的だと思う。 | 4.1 | 4.1 |

本校職員による本校生徒の様子

| | |
|-------------------|---|
| <p>良い点</p> | <p>○小規模校(1小学校 1中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校のため経験や活躍の場がたくさんある。また、先輩後輩かかわらず仲がいい。 ・長い間、クラス替えがないことでクラスのみんながお互いのことをよく理解しており、比較的和やかな雰囲気を感じられる。とても良いことであると感じる。 ・人数が少ないため、いろいろな活動や経験の場があること。 ・少人数であるがゆえに一人一人が生かされる場面が多い。 ・生徒同士とても仲が良く、素直で優しい生徒が多い。 <p>○生徒について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動に真面目に取り組む。 ・素直で素朴なところ。 ・純粋で素直な生徒が多く、様々な場面においてよい活動ができていると思う。 ・さまざまな特性の生徒がいる中、白い目で見たり嫌がらせをせずそれぞれの違いを受け入れて、互いに支え合いながら生活することが当たり前になっている。 ・素直な生徒が多いと思う。生徒数が少ない中、複数の役割等を一生懸命こなしていると思う。 ・大人(教員)と親近感を持って接することができる。 ・優しい生徒が多い。 ・行事等を楽しみながら、一生懸命取り組めるところはとても良いと感じる。 ・授業等もしっかりと取り組む生徒が多い。 |
| <p>課題</p> | <p>○小規模校(1小学校 1中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下関係による緊張感が薄いため、これから進学、または社会進出する際に苦労する。 ・メンバーが変わらないため、学校内(学級内)における一人一人の役割(ポジション)がほぼ固定化されており、新たな一面を引き出しづらい。 ・保育園や小学校からほぼ変わらない集団なので、普通規模の中学校と比較すると切磋琢磨といった状況を創ることが難しい。 ・小学校から同じメンバーでクラス替えがないため、集団の質の向上やクラス内の人間関係づくりに難しさがある。 ・小さなころから同じメンバーで育ってきている、小さなコミュニティだからこそ受け入れられている、許されることが多々あると思う。卒業後も通用する力を身につけられるよう、2・3学期を過ごさせていきたい。 <p>○学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を徹底し、生徒それぞれの個性をみとめつつ、集団で高め合っていける雰囲気をつくる。 ・生徒の実態を考えると、家庭学習の充実を根本的に考えなければならない。 ・勤務時間等あるかと思うが、放課後学習を1時間程度しっかりとれる日があってもよい。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主・自律 ・人前で堂々と発表できる生徒が少ない。 ・全てに対して、そこそこので満足してしまいがち。もっと力を出せるのにとすることがしばしばある。 ・悪いこと、良くないことに対して、「No.」「ダメだと思う。」「そういうことはやめよう。」とはっきり言い合える生徒同士の関係を築かせ、育てたい。「仲が良いこと」と「なれ合い」は別。 ・人前で発表する時などの表現力の乏しさ。ある程度の殻が破れないでいること。 ・自己発信力や自己肯定感の低い生徒が多いように感じる。また、コミュニケーション能力や協調性も、もう少しあると良いと感じている。 ・コロナ禍の影響もあると思うが、あいさつをしたり、大きな声を出して自分を表現したりすることについては課題がある。 |

来年度へ向けて

例年以上に生徒の学力面での課題が多くあげられている。学校での基礎学力徹底の取り組み、家庭学習の充実を図る取り組みを充実させ、学習意欲の向上につなげたい。

- ・基礎学力徹底の取り組み…授業での取り組みはもちろん重要だが、数チャレ・英チャレについて、教科担当にたよりになっているように感じる。各学年ごと、生徒一人一人の誤答分析を行い、個別にちょっとした指導をしていくことで底上げを図りたい。
- ・家庭学習充実の取り組み…一人一人の生徒への対応を大切にしていきたい。特に家庭学習ができていない生徒に対して、励ましながら充実化を図ることに力を入れたい。まずは習慣化を図ることを目標とし、個々へレベルのあったアプローチをしていくことを意識したい。